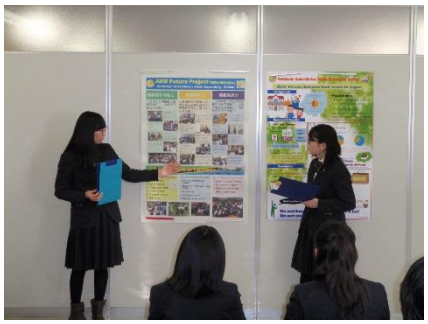
北海道から世界を考える～自分は何ができるか

北海道SGH高校生ミーティング　　**AKB Future Project 推進委員会**

■日　時　平成 31 年２月１日（金）　13:00～16:45
■参加者　本校生徒　５回生６名　　50 名（指定校５校　ｱｿｼｴｲﾄ３校代表者等）
■会　場　北海道立教育研究所

★2 月 1 日、北海道立教育研究所を会場に行われた「北海道 SGH 高校生ミーティング」に本校５回生６名が参加しました。道内の SGH 指定校・アソシエイト校８校の代表生徒が集まり、これまでの各校の取り組みについて報告・交流を行いました。本校生徒６名は、司会・運営を担当し、英語を使って会を進行しました。

＜SGH 校課題研究発表＞



発表はポスターセッション形式で行われ、各校、英語での発表・返答を行い、レベルの高い内容から、これまでの研究の成果が伝わりました。本校からは、12 月に東京で行われた全国フォーラムで発表した内容に加え、タンザニアで行った海外 FW での活動報告を行いました。

＜講演「北海道から世界を考えるヒント」＞

３名の講師の方から、ニセコにおける外国企業ビジネスなど、北海道でもグローバルな活動は可能であることや、異文化理解には、価値観の共有・尊重を探すことが大切であるなど、これからの北海道を支えるグローバルリーダーとして活躍する上で身につけたい資質や知識について伝えていただきました。

＜交流会（グループディスカッション）＞

「20 年後の北海道～北海道のために自分は何ができるか」をテーマにディスカッションを行いました。「様々な変化に対応できるように、柔軟に吸収できる力を身につけていきたい。」など活発な議論の中から、たくさんの意見が出されていました。

＜SGH 高校生ミーティングに参加して＞

■ポスターセッションでは緊張もしたが、自信や達成感を得ることができた。また他校の発表を聞いて、英語力や大勢の前で堂々と発表する力をさらに高めたいと思った。

■講演では社会に出てから必要なのはコミュニケーション力や SGH でも行っている問題解決力だということを知った。今は将来の自分のためにどれだけ努力できるかという時期だと思うので、今後も受験勉強を頑張りたいと思った。

■他の学校の生徒は、コミュニケーション力だけでなく、英語力や膨大な知識量があるということを肌で感じることができた。自分ももっと世界や日本、北海道について知るべきだと思った。